

令和3年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

自然環境課

1 施設の概要等

施設名	野呂山公園施設		
所在地	呉市川尻町板休		
設置目的	すぐれた風景地である自然公園の利用の増進を図り、もって県民の保健、休養及び教化に資する。		
施設・設備	オートキャンプ場、公衆便所、休憩所、展望台、歩道、車道、駐車場施設等		
指定管理者	4期目	H31.4.1～R6.3.31	(一財)野呂山観光開発公社
	3期目	H26.4.1～H31.3.31	(一財)野呂山観光開発公社
	2期目	H21.4.1～H26.3.31	(一財)野呂山観光開発公社
	1期目	H18.4.1～H21.3.31	(財)野呂山観光開発公社

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	4期	R3	5,250人	3,974人	△1,195人
R2		5,000人	5,169人	△1,485人	169人(103.4%)
R1		5,000人	6,654人	1,299人	1,654人(133.1%)
	3期平均(H26～H30)	5,424人	5,355人	340人	△69人(98.7%)
	2期平均(H21～H25)	4,110人	5,015人	1,863人	905人(122.0%)
	1期平均(H18～H20)	—	3,152人	528人	—
	H17(導入前)	—	2,624人	—	—
増減理由	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、前年度と比べて県からの休業要請期間が長かった(R3:114日, R2:28日)ことから、前年度より利用者が減少し、目標を達成できなかった。				

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	ヒアリングの実施	キャンプ場利用者
	【主な意見】	【その対応状況】
	予約の際に、注意点や気象情報を伝えているため、あらかじめ準備することができた。	引き続き利用者からの問合せに対しきめ細かく情報提供を行う。

4 県の業務点検等の状況

項目	実績	備考
報告書	年度	○ 事業報告書
	月報	○ 月次業務実績報告書
	日報	—
運営協議会(12月・現地)	【特記事項等】 施設の利活用の促進策について	
現地調査(3月)	【指定管理者の意見】 周辺施設を含む野呂山全体の利活用の促進策を呉市が行っているため、指定管理者独自の利活用促進策を実施したい。	
	【県の対応】 指定管理者及び呉市の利活用の検討状況を注視しつつ、県としても必要な支援を行う。	

5 県委託料の状況

(単位：千円)

	年度		金額	対前年度増減		年度		金額	対前年度増減
	県委託料 (決算額)	4期	R3	5,038		102	料金収入 (決算額)	4期	R3
R2			4,936	76	R2	4,482			△474
R1			4,860	799	R1	4,956			1,660
3期平均(H26～H30)		4,061	113	3期平均(H26～H30)		3,296		532	
2期平均(H21～H25)		3,948	0	2期平均(H21～H25)		2,764		1,310	
1期平均(H18～H20)		3,948	△364	1期平均(H18～H20)		1,454		103	
H17(導入前)		4,312	—	H17(導入前)		1,351		—	

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		R3決算額	R2決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収入	県委託料	5,038	4,936	102	新型コロナウイルス感染症対策経費の増
		料金収入(※1)	3,768	4,482	△714	新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休業による利用者の減
		その他収入	1,300	28	1,272	雇用調整助成金による増
		計(A)	10,106	9,446	660	
	支出	人件費	5,262	4,308	954	人員配置の見直しに伴う増
		光熱水費	1,489	1,389	100	冬季の気温低下に伴う電気代の増
		設備等保守点検費	1,402	982	420	し尿汲み取り回数増による増
		清掃・警備費等	563	342	221	新型コロナウイルス感染症拡大防止のための消耗品費の増
		施設維持修繕費	502	860	△358	修繕箇所の減
		事務局費	106	88	18	
		その他	761	803	△42	
	計(B)	10,085	8,772	1,313		
	収支①(A-B)		21	674	△653	
	自主事業 (※2)	収入(C)	—	—	—	
支出(D)		—	—	—		
収支②(C-D)		—	—	—		
合計収支(①+②)		21	674	△653		

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	多目的広場等の無料開放のほか, 各種イベント(手ぶらでキャンププラン, 野外料理教室等)を継続実施した。	自然公園の利用増進を図るためのイベントを企画・実施している。
	○業務の実施による, 県民サービスの向上	新型コロナウイルス感染防止対策として, キャンプサイトの間隔を空けた利用を継続した。	新型コロナウイルス感染防止対策を講じることで, 利用者が安心して利用できる施設を提供している。
	○業務の実施による, 施設の利用促進	ファミリー層向けのプランのチラシを呉市内の小学校に継続して配布することで, 地元市民の利用促進やリピーターの獲得につなげた。	利用者の居住地の分析などにより, オートキャンプ場利用の増加につながる取組を実施している。
	○施設の維持管理	定期的に施設等を巡回し, 清掃管理を徹底したほか, 修繕について県と連携して実施した。	清掃, 草刈りを適切に実施し, 快適な利用環境の提供に努めるとともに, 修繕についても県と連携して行っている。
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し	人員配置を見直し, 利用者の満足度向上を図った。	利用者の満足度向上に努めていることは評価できる。更なる経費削減に努める必要がある。
	○効率的な業務運営	周辺施設(野呂高原ロッジ)と連携して一体的な管理運営を行った。	周辺施設と連携した施設の管理運営及び柔軟な人員配置により, 効率的な運営を行っている。
	○収支の適正	新型コロナウイルス感染症の影響を受け料金収入が減少したが, 雇用調整助成金等の制度を活用し, 黒字となった。	利用者増による, 更なる収支の適正化に取り組む必要がある。
総括		前年度より県からの休業要請期間が長かったため, 前年度より利用者減となり, 目標の利用者数を達成できなかったが, 雇用調整助成金等の制度を活用したことで, 黒字を確保できた。	適切な感染防止対策を講じながら施設を提供している。引き続き, 周辺施設と連携したイベントなどにより, 利用者増や収入増に努める必要がある。

8 今後の方向性(課題と対応)

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和4年度)	引き続き, 新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しながら, 利用促進につながる企画を新たに実施することで, 施設の利用促進に努める。	引き続き, 必要な新型コロナウイルス感染防止対策の実施を支援するとともに, 周辺施設と連携した新たな企画などの実施に際し, 広報などの支援を行う。
中期的な対応	施設の修繕等や利用者増加につながる企画及び柔軟な料金設定について, 県と協議を行いながら実施する。	施設の修繕については, 指定管理者の意見等を踏まえ, 緊急性の高いものから計画的に対応していくとともに, 利用者増加策についても, 必要な支援を行う。